

MBCテレビ 毎週日曜日午前8時から
(再放送 毎週月曜日午後4時から)

- 8月8日 準備運動と人口呼吸法
- 8月15日 台風シーズンを迎えて
- 8月22日 海中レストラン
- 8月29日 8月の市政ハイライト

46年度予算 28億円を補正



対話の市政から参加の市政へ

福祉・教育などに力こぶ

このほど四十六年度の補正予算が決まりました。末吉市政二期目の初年度として、新しい施策を盛り込んだもので、補正額は二十八億三千八百三十三万二千円です。この予算を市議会に提案するにあたって、末吉市長は今後の市政運営の方向を明らかにしましたが、以下、その施政方針の要旨です。

提言をいただく市政

市政は市民のものであり、市民の市政への関心を高め、市民とともに市政を進めていくことが、地方自治の基本であることはいまさらいうまでもありません。

市は昭和四十二年以来、この基本的な考え方に立ち、対話集会などを通じ市民のみなさんの声をできるかぎり市政に反映させることにより、「市民のための市政」の基礎づくりに取り組みできました。今後は、この声を聞くという対話の市政をさらに一歩進め、市政の問題について、市民と市、また市民どうしが

ともに話し合い、そして積極的な提言をいただく市政、つまり「市民総参加の市政」を進めていきます。

議会・県・国との関係

いま全国の各都市では、土地、住宅、交通、公害など多くの都市問題をかかえています。これらの問題の解決は財政事情をはじめ現在の地方行政をとりまく情勢からみても決して容易ではありません。したがって、最も重要なことは、当面何をなすべきかという判断、つまり施策の選択を誤らないことです。

今後とも市政を進めるにあたっては、市民と市とのつな

がりを強めていくなかで施策を選択し、さらに市議会に相談して、審議決定されたものを執行していきます。これによって市政は一層高められていくことになるでしょう。

一方、県や国との関係については、今日の行政体制のなかで住民と密着した行政を進める役割を果すのは市町村です。四十万市民の立場に立って地方自治体としての主体性を持ちながら、お互いに協力し合っています。

五本の柱を中心に

さて、鹿児島市の周辺ではいま大型空港・九州縦貫高速自動車道の建設や国鉄の電化復線化、高速フェリーの就航など、交通基盤の整備が進められています。

さらには沖縄の復帰も間近く、また東南アジアへの玄関

口として、鹿児島市はますます重要な位置を占めつつあります。

したがって、関係機関との連携を密接にしなが、日本の南の拠点としてのまちづくりを進めていかなければなりません。ただ、都市の発展は人間不在の環境をもたらすようなものであってはなりません。鹿児島市でも、もろもろの生活のひずみや障害をとり除き、人間性を回復する市政を確立するためには多くの課題があります。

その主なものとしては、まず老人福祉や児童福祉など一連の福祉対策の充実、市民が家庭・学校・社会を通じ生涯にわたって豊かな人間性をはぐくむ教育を受けられるような教育環境の充実があげられます。

また道路や住宅その他公共施設の建設、都市再開発、都市機能の再配置など都市基盤の整備を図るとともに、公害などの生活障害をとり除く一方、鹿児島市の自然をこれ以上よごさないようにし、住みよい環境を守ることも重要です。

さらに伝統産業の助長や商工業の育成など各種産業の振興、恵まれた豊かな自然環境の保全などによる国際観光都市づくりを行なうことも、鹿児島市発展の大きな要素であるといえます。

そこで、今後の基本的な施策の方向としては、
①子どもとお年よりを大切に
する市政
②市民性を高める教育文化の
向上
③住みよい環境で明るいまち
づくり
④産業の振興で豊かなまちづくり
⑤桜島と錦江湾を結ぶ観光都市づくり

行政の近代化も

今回の補正予算は、このよ
うな当面の課題をふまえたが
ら、原則としてこれまでの施
策にもとづく「まちづくり五
年計画」による事業、それ
に公約にもとづく施策のうち
いま必要であると思われるも
のを中心に編成しました。

これらの施策を進めていく
にあたっては、新たな行政に
即応できるよう市役所内部の
行政機構の整備や事務改善に
努め、また適正な職員管理や
研修の充実などにより市民サ
ービスの向上、行政運営の効
率化を図るなど、行政の近代
化を進めていきます。

新収入役に夏迫氏

委員 園屋・田中氏を再任



夏迫 収入役

新収入役はことし五十八歳、
伊敷支所長、社会課長、庶務
課長、福祉事務所長などを歴
任しています。

なお、同じく任期満了とな
っていた教育委員の園屋武右
衛門、田中美寿子、公平委員
会委員の石神兼文、固定資産
評価審査委員会委員の川畑寅
吉の各氏も、同日市議会の同
意を得て再任されました。

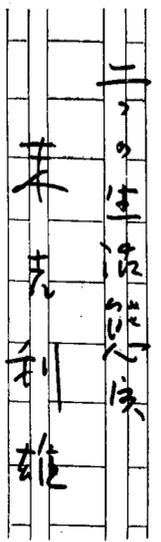
市長随想 (41)

連日、室内で三十度を越していますが、ここ当分の暑さは続きそうです。学校もすでに夏休みにはいりました。子どもたちにとっては今も昔も変わることはない解放感でいっぱいだろうと思います。子どもたちがこの夏休みをどう理解しているかは別として、思い出の多い夏休みとなるように祈りたいのです。

夏休みになると学校によってはPTAのみなさんが、学校でかねて手の届かないところの掃除や整理をなさるところがあるようですが、この姿を子どもたちがどう受けとめているだろうかと思っていたところ、つい最近つぎのような話を聞いたのです。

親たちが学校の掃除をすることになって集まったところ、子どもたちが大勢校庭で遊んでいたの、「おじさんたちはこれから掃除をするんだが、みんな手伝ってくれないか」と頼んだら「手伝ったらいくらくれる？」といったそうです。そこで「それならいいよ」といっておとなたちだけで掃除を始めました。ところが、それから十五分か二十分たったころ、一人の子どもがそばにやってきて「おじさん、ぼく手伝うよ」といったそうです。すると、その辺にいた子どもたちが「ぼくも」「ぼくも」とやってきて手伝ってくれました。やがて掃除が終わったので、子どもたちにジュースでも飲ませてやろうとすることになった。「おじさんたちがぼくらの学校をきれいにするために一生懸命掃除してくださるのだから、ぼくも手伝うのは当たり前です。そんな心配はいりません。」と、いって三々五々帰って行ったそうです。

暑いのおとなたちが額に汗を流している姿が、子どもたちが本来持っている純真さに無言の訴えとなって現われた一つの風景だと思ふのです。「いくらくれる？」といったことが子どもたちの一つの生活態度であるとするならば、「ぼくも」「ぼくも」といって手伝ったうえ、ジュースのほうびまで断ったのも一つの生活態度だと思ふのです。子どもたちのこの二つの生活態度を私たちはどう判断し、どう導いていけたらよいのでしょうか。



四十六年度補正予算

身障者に友愛パス

全市道の五カ年計画へ第一歩

今回の補正予算は総額二十八億三千八百三十三万二千円です。会計別の内訳は、一般会計十億六千六百七十万七千円、特別会計十六億二千九百三十三万三千円、企業会計一億三千四百九十九万二千円となっており、これを当初予算と合わせると、総額三百八十八億三千四百七十七万二千円になります。

ことしの当初予算は、四月に市長選挙を控えていたため、人件費や物件費、それに市民生活にとって欠くことのできない事業などだけを組み込んだ「骨格的な予算」でした。したがって四十六年度予算は今回の補正によって「総合予算」としての形が整ったわけです。

とくに今回の補正では、教育施設や生活環境施設の整備に重点が置かれ、市道の全面舗装や全市立学校の便所の水洗化五カ年計画が、いよいよその第一歩を踏み出しました。また、身障者に対する友愛パスの発行、青少年のためのヤング広場の建設、消費者教育、父兄負担の軽減策など、市民生活に密着した新しい事業が数多く盛り込まれています。以下、この補正予算に組み込まれた主な事業をあげてみました。

青少年にヤング広場

生活環境



▽甲突川左岸緑地(武之橋下流)に、青少年のためのヤング広場をつくりまします。また鴨池公園や砂走公園などの整備を進めます。(三千四百万円)

▽寺山、塩釜公園の公衆便所を改築します。

▽簡易水道の新設(犬迫町中組地区)や改良(皆与志町中組地区、犬迫町萩別府地区)のための費用の一部を補助します(百三十七万円)

▽ゴミ収集車七台を新たに購入、収集体制の充実を図ります。また、コンポスト工場、焼却炉、棄却場の整備を行ないます。(千九百九十二万円)

▽脇田処理場に駐車場を設けるほか、搬入道路の整備を行ないます。(百八十五万円)

▽し尿くみ取り業務をよりよく改善するため、市内全世帯の実態調査を行ないます。

▽草牟田、宇宿墓地に三十八基の特設墓地を設けるほか、坂元墓地などの整備を行ないます。(五百二十八万円)

▽自主性を持った「かしこい消費者」になっていただくために消費生活教室やくらしの移動教室を設けるほか、消費生活展を開きます。

▽市道の舗装、補修、改良など道路の整備を積極的に進めます。道路整備予算はすでに当初予算にも三億二千万円を計上しており、とくに舗装については、ことしから五カ年計画で全市道の舗装を行ない

ます。なお、今回の補正で市道の舗装率は五〇〇になる見込みです。

▽危険防護柵や歩道、バス停車帯などの設置、交差点の改良など、交通安全施設の整備を進めます。(千二百三十一万円)

▽高麗橋、玉江橋、大乗院橋に歩道橋を新設するほか、田入道橋を拡幅します。

▽西田町に改良住宅五十六戸を建設します。

▽武・田上・小松原・桜川地区の土地区画整理のための事業費をそれぞれ増額します。

▽西田川下水道の改良工事費用を増額します。(七百万円)

▽新動物園建設地の用地買収、整地のほか、動物舎の建設、動物の新規購入などを行ないます。

▽身体障害者家庭や老人家庭を訪問し、いろいろとお世話

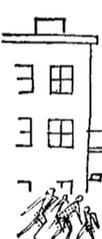
ます。身体障害者約二千八百六十人のみならず、市電・市バスを無料で利用できる「友愛パス」を贈ります。申請の受付は九月一日から始める予定です。

▽身体障害者家庭や老人家庭を訪問し、いろいろとお世話

ます。身体障害者約二千八百六十人のみならず、市電・市バスを無料で利用できる「友愛パス」を贈ります。申請の受付は九月一日から始める予定です。

中洲小など水洗化

教育



▽市立の全小・中・高校の便所を五カ年計画で水洗化します。ことしはその初年度として中洲小、谷山小、清水中、女子高の便所を水洗化します(二千七百万円)

▽学校図書司書の人件費など、PTA負担の軽減を図ります。また、学校運営費の私費(P.T.A.会費など)への依存度を調査し、公費による標準的な学校運営費を求めるとともに学校設備の基準を定めます。(千九百五十万円)

▽鹿児島県では初めての自閉症児のための治療教室を山下小に設けます。開設は十月一日の予定です。開設は十月一日の予定です。

▽草牟田小を二カ年計画で城山団地内に移転新築します。完成は来年七月の予定です。

▽ことし五月の火災で焼けた小山田小に鉄筋校舎を新築、各種備品を備えます。

▽田上・紫原地区の児童の急増に備え、第三紫原小(仮称)の校地を造成します。

▽商業高校の卓球室、クラブ室などを建設するほか、外柵など各種施設の整備を行ないます。(二千三百八十三万円)

▽児童生徒の増加に備え、学校給食センターの給食設備を増設、現在の給食能力二万食を二万二千食に増やします。

▽火災に備え、指導要録などを格納する耐火書類庫を小学校七校、中学校四校に設置します。(八十五万円)

▽四火災、盗難防止のため小学校十四校、中学校六校、高校一校に門扉、外柵を設置します。(六百五十万円)

▽児童生徒用の机、いすを整備します。(二百十万円)

▽一昨年十一月、兄弟都市の盟約を結んだ山形県鶴岡市に青少年と一般市民の代表を派遣し、両市の交流を深めます(百二十五万円)

▽来年に迫った太陽国体の諸準備を進めます。

▽市役所新館ホールの壁を絵の展示ができるように改造、市民画廊として美術愛好家のみなさんにご利用いただきます。また、市民課待合室などではバックミュージックを聞きながらお待ちいただけるようにします。(四十五万円)

観光客誘致に努力

産業



▽商店街の分布や地区別構成などの資料を収集分析し、今後の商店街の方向づけを検討します。(二十四万円)

▽中小企業の金融対策として信用保証協会への出せん金を増やします。(三百万円)

▽商店街の美化、環境整備のため、金生町通りと天文館中央通りのアーケード設置費用の一部を補助します。(百五十万円)

▽本市の特産品の販路拡張と市場開拓を図り、観光客を誘致するため「南国鹿児島島の観光と物産展」を千葉市で開きます。(三十五万円)

▽高速カーフェリーの就航などにともない阪神地区の観光客を誘致するため、初めての試みとして、鹿児島・宮崎両市の合同観光宣伝隊を大阪、神戸、名古屋、岐阜に派遣します。

また、外人観光客や各種大会誘致のために新しいパンフレットを作ります。(百五十万円)

家庭奉仕員を増員

福祉



する家庭奉仕員(婦人)を六人増やし、合わせて二十五人にします。(九十万円)

▽保育の資質向上のため、市内の保育所の保育士全員について、青少年研修センターでの研修や福祉施設の見学旅行を実施します。(四十万円)

▽身体障害者団体や社会福祉協議会、精神薄弱者育成会、私立保育所、老人クラブ、未亡人会など社会福祉関係団体の運営費や施設建設費の一部を補助します。(百十九万円)

▽障害の程度が三級以上の身体障害者約二千八百六十人のみならず、市電・市バスを無料で利用できる「友愛パス」を贈ります。申請の受付は九月一日から始める予定です。

▽身体障害者家庭や老人家庭を訪問し、いろいろとお世話

ます。身体障害者約二千八百六十人のみならず、市電・市バスを無料で利用できる「友愛パス」を贈ります。申請の受付は九月一日から始める予定です。

ます。身体障害者約二千八百六十人のみならず、市電・市バスを無料で利用できる「友愛パス」を贈ります。申請の受付は九月一日から始める予定です。

ます。身体障害者約二千八百六十人のみならず、市電・市バスを無料で利用できる「友愛パス」を贈ります。申請の受付は九月一日から始める予定です。

ます。身体障害者約二千八百六十人のみならず、市電・市バスを無料で利用できる「友愛パス」を贈ります。申請の受付は九月一日から始める予定です。

ます。身体障害者約二千八百六十人のみならず、市電・市バスを無料で利用できる「友愛パス」を贈ります。申請の受付は九月一日から始める予定です。

太陽国体市民運動 8月の努力目標

「郷土の自然を守ろう」

夏季大会まであと413日 (47. 9. 17~20) 秋季大会まであと448日 (47. 10. 22~27)



- 郷土の自然を大切に…。公園や観光地など、みんなの場所をよごさないようにし、樹木や草花などを傷つけないようにしましょう。
■郷土に親しみと誇りを…。数多い史跡や文化財、天然記念物などについての理解を深め、これを大切にしましょう。

無料税務相談

とき 毎月第一木曜日12時から受付
ところ 市役所新館一階 広報室

今月の日曜当番医さん

都合により担当病院が変わることもありますので、ご了承ください

8月8日(日)

- 橋口医院(内科) 清水町
新田医院(内科) 元町
飯山病院(内科) 荒田町
田中小児科(内科) 上元町
河野医院(内科) 上福元町
中村胃腸科外科(外科) 下荒田町
赤崎医院(内科) 西田町
有馬純小児科(内科) 山之口町
整形外科病院(内科) 山之口町
野上病院(内科) 谷山塩屋町
永田医院(産婦人科) 西千石町
平塚眼科(眼科) 薬師町
橋本医院(耳鼻科) 平之町

8月15日(日)

- 上村医院(内科) 易居町
玉里病院(内科) 玉里町
五反田医院(内科) 鴨池町
村山内科(内科) 原良町
中野医院(内科) 上福元町
八反丸病院(外科) 下尾町
島本医院(外科) 郡元町
下福元病院(外科) 上福元町
土橋病院(産婦人科) 西田町
内田眼科医院(眼科) 樋之口町
久木田医院(耳鼻科) 大竜町

8月22日(日)

- 有馬内科(内科) 西千石町
福島内科病院(内科) 甲突町
山上病院(内科) 宇宿町
市来病院(内科) 上福元町
岩尾病院(外科) 甲突町
鮫島病院(外科) 西千石町
福崎医院(皮膚科) 易居町
橋村外科(外科) 上福元町
東産婦人科(産婦人科) 郡元町
大山眼科(眼科) 宇宿町
吉満耳鼻咽喉科(耳鼻科) 小川町

8月29日(日)

- 牧田医院(内科) 上本町
中内医院(内科) 山之口町
河野小児科(内科) 鴨池町
山元医院(内科) 西田町
三宅病院(内科) 上福元町
山元医院(外科) 春日町
木下皮膚泌尿器科(内科) 西田町
川島病院(内科) 鴨池町
竹田病院(産婦人科) 山之口町
井後眼科(眼科) 小川町
江川耳鼻咽喉科(耳鼻科) 大黒町

利用を



法で定められた助産施設

児童福祉法による助産施設とは、産施設とは経済的な理由で入院し、出産できない妊産婦を入所させる施設を指す。

30日午前9時～11時半 坂元大成寮(X、シ) / 31日午前9時～午後3時 坂元町日枝神社(X、シ) / 9月3日午前9時～11時半 清瀬川公営駐車場(X) / 6日午前9時～午後3時 川上小(X、シ) / 7日午前9時～11時半 岡之原町の大久保農協(X、シ) / 午後1時～3時 下田農協(X、シ) / 8日午前9時～午後3時 紫原小(X) / 9日午前9時～午後3時 西紫原小(X) / 10日午前9時～午後3時 紫原中(X) / 14日午前9時～11時半 川上町上花棚公民館(X、シ)。

お知らせ

がんの出張検診

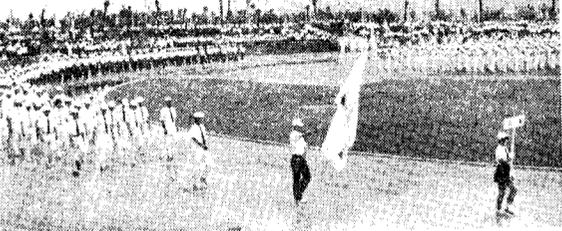
がん検診を行ないます。家庭の主婦や働きざかりの男性の方は、ぜひ受けてください。

お知らせ

小山田小。胃がん検診 8月30日中山小。9月13日北部農協五カ別府支所。14日平川農協。

お知らせ

は火の元・消防用設備の点検を確実にするなど、火災を出さない運動にご協力ください。



ミニ国体 全九州高校総体開く

来年の太陽国体のリハーサルとして昭和46年度全九州高校総合体育大会は、沖縄を含む九州各県から約6,500人の若人がつどい、7月21日の県立陸上競技場での開会式を皮切りに24日まで、県下8市6町で22の競技に、雨にもめげず力とわざをこめて競いあつた。本県勢は団体17、個人27の優勝を飾りました。

ご協力を

8月14日に戦亡者慰霊祭。市では毎年、第二次大戦でなくなられた人びとのために福を祈り平和への願いをこめて慰霊祭を実施しています。

募集します

武岡団地の宅積積立者。第2回目の、武岡団地の宅地債券積立者募集(住宅金融公庫融資付)を行ないます。

注意を

福祉証書をお返しします。ことし5月に、本年度分の福祉年金の所得状況届をされた際提出なされた福祉年金証書を8月10日以前に、市の国民年金課(支所管内の人は各支所)でお受け取りください。

Table with 4 columns: Category, 昭和46年, 昭和45年, 増減. Rows include 発生件数, 死者, 負傷者, 死傷者合計.

この届けを出さないと、今年度分の年金が受けられません。この届けを出さないと、今年度分の年金が受けられません。

国保の課税限度額を改定。中間所得者層の保険負担の増加を緩和するため、法律改正によって今年度分から国民健康保険の課税限度額(一世帯が一年間に納める最高額)が、8万円に改定されました(現行は5万円)。

地域青年大学の受講者。県の教育委員会では「地域青年大学」を開設します。

鳴らせ心のサイレン。市では毎月9日を市民防火の日と定め、火に対する警戒心を高め、火に備えるために午前7時半に市役所をはじめ12カ所でサイレンを鳴らし、火災のない明るい町づくりを進めています。

税の納期。税は必ず納期内に納めましょう。市税、市・県民税(第二期)、国民健康保険税(第三期)。

さつまおはら競演大会。鹿兒島に古くから伝わる郷土民謡(節)を市民レクリエーションとして、ますます盛んにし、観光客を心から暖かく迎える一助にしようとして「さつまおはら競演大会」が開かれます。

高齢者学級。8月の高齢者学級は9日午前10時から正午まで、中央公民館で開きます。今回は学級生の発表会(民謡詩吟、手踊りなど)です。

会と催し. 第7回南日本あいごソフト決勝大会 8月10日. 国体体操予選 8月12、13日. 国体高校バレーボール県予選 8月27-29日.